【消防隊】火災現場は危険が多く、人命救助を最優先で行うため、日々訓練を行い技術の向上に努めています。また、１秒でも早く出動できるように、事前に防火服を長靴にセッティングするなどの工夫をしています。

消防力　強化！

安心・安全を守る

問 消防本部　☎286-3119

今年度、新車両２台を配備した府中町消防本部・署。昭和42年から、府中町の火災予防・消火、救急、救助はもとより、自然災害への対応など広範囲にわたり、「町民の安心・安全」の担い手として、業務を遂行しています。今月は、府中町消防の活動の一部を紹介します。

広報
ふちゅう 3

目次

02　安心・安全を守る
04　災害復旧・対策工事スケジュール
05　平成31年4月、役場の組織が変わります
08　町からのお知らせ
国民健康保険へ加入しているみなさんへ／DVを知っていますか／プラチナ保育手当を支給します　ほか
11　まちのわだい
府中町体育協会体育功労賞／新春防火かるた大会　ほか
12　ふちゅう子育て応援イクフレ
14　公民館定期活動グループメンバー募集
17　くらしのガイド
お知らせ／健康／講座・学習／募集／イベント／スポーツ／相談
24　ふるさと歴史散歩／朝パッ君レシピ
25　図書館だより／消費生活相談
26　府中町消防署からのお知らせ／正しいごみ出しにご協力を
27　今月のカレンダー
休日当番医、施設の休館日など
28　ふちゅうの宝みぃつけた！
府中小学校出身
ミュージシャン 吉川晃司さん

今月号の表紙

導入した新車両2台のうち1台には、「ＣＡＦＳ（キャフス）」という、泡を使用した消火ができる機能を装備。消火活動の幅が広がりました。

写真①②【救助隊】はしご車のはしごを伸ばすと最大で地上30m（マンション10階の高さに相当）になります。救助工作車には、450点を超える資機材を装備。熱の温度やガスを検知する測定器や車を破壊する機械などの特殊な資機材もあります。

写真③④【救急隊】写真④は救急車内。救急車には観察や処置に必要なさまざまな資器材を装備。救命率の向上につなげるため、昨年から新たに画像伝送システムを搭載。救命救急センターの医師とリアルタイムに情報を共有できるようになりました。（職員の左手にあるタブレットでシステム操作。心電図等の情報と、車内に設置のカメラで傷病者の様態を医師へ伝達）

消防車を2台導入！

表紙の新車両は、車体フレームのアルミ化などにより軽量化、資機材の小型化や収納スペースの工夫により、空気呼吸器などの装備品が充実しています。また、狭い地区や、災害時の道路状況が悪い場所でも通行できるよう、車両を小型化しました。

また、新車両のうち一台にCAFS（キャフス＝圧縮空気泡消火装置）を積載。水と消火剤で消火に適した泡を作り放射するもので、水の数十倍の消火能力があります。消火に必要な水源が少ない高速道路上での車両火災や林野火災、また建物火災の延焼防止など、少ない水でも長時間放水（放泡）が可能となります。

府中町の消防

府中町の消防は、「消防本部」「消防署」「消防団」からなります。

消防署には、火災発生時に消火や延焼防止を行う「消防隊」、急病人やけが人に応急の手当を行いながら医療機関へ搬送する「救急隊」、火災や交通事故等での人命救助を行う「救助隊」があり、各隊は高度な専門性を有し、さまざまな災害に備えています。

消防団は、地域の安心、安全のために活動し、地域の消防防災のリーダーとして重要な役割を担っています。昨年の豪雨災害では、多くの消防団員が出動し、災害の防御活動や、住民の避難・支援などを行いました。

消防団員募集中　あなたも町を守る活動をしてみませんか？まずはお問い合わせを。

寺西 消防署長

「7月豪雨災害では、ボランティアなど多くのみなさんが、炎天下の中、汗を流し活動していただいたこと、職員一同感謝申し上げます」

消防職員は、平時には消防本部職員として事務を行い、町民の生命・身体・財産に直結する災害時には消防署職員として瞬時に切り替わり対応します。

平成30年7月豪雨災害では、災害発生から20日の間に救助活動・避難誘導・応急工作など約60件の災害に対応しました。今後もより一層、あらゆる災害対応ができるよう、職員に対して計画的に訓練や研修を行っていきます。

災害の当事者は「災難が降りかかる、自分が災難に遭うとは思ってもみなかった」といいます。災害は突然やってきます。みなさんには、普段から関係機関と協力し、もしものときの備えをお願いします。これからも、町民のみなさんが安心して暮らせるまちづくりに、みなさんとともに取り組んでいきます。